



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 シノブフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2903 URL <https://www.shinobufoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部副本部長 (氏名) 長尾 正史 (TEL) 06(6477)0113
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,354	3.9	905	8.4	927	9.0	696	17.4
2022年3月期第2四半期	24,395	9.7	835	66.4	850	63.1	593	44.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 692百万円(17.0%) 2022年3月期第2四半期 592百万円(54.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	56.34	55.85
2022年3月期第2四半期	47.80	47.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	31,321	14,743	46.9
2022年3月期	30,941	14,190	45.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 14,677百万円 2022年3月期 14,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.50	—	11.50	20.00
2023年3月期	—	10.00			
2023年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	0.7	1,530	0.2	1,550	0.6	1,090	0.8	87.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	13,500,000株	2022年3月期	13,500,000株
2023年3月期2Q	1,120,589株	2022年3月期	1,146,069株
2023年3月期2Q	12,366,311株	2022年3月期2Q	12,421,027株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による悪化から持ち直しの動きがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の上昇や、急激な円安の進行などの影響により依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、コロナ禍における消費者需要の変化への対応が求められる中、原材料やエネルギー価格の高騰等、引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2021年3月期～2025年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人材戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、5月から冷凍おせちや冷凍惣菜の製造など冷凍事業の拡大を図り、また開発面ではオムライス専門店とのコラボ商品の開発をはじめとする「内製化」「良品づくり」「鮮度感」にこだわり、商品価値を高めることで他社との差別化に努めました。

生産面では、政府のガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組むとともに、従来からの衛生管理に加え、生産管理部や購買部の工場巡回を通し、「良品づくり」に向けた課題の解決や業務の改善を行い、食に携わる企業としての責任を全うするため、取り組んでおります。また大阪工場の炊飯設備を入替え、舎利の美味しさと品質向上に努めました。

コスト面では、人員不足による労働コストの増加や、原材料やエネルギー価格の高騰等が続いておりますが、これらを吸収するべく、原材料の高騰を見据えた新商品の提案を積極的に行うとともに、主要食材の調達方法の見直しを継続いたしました。また、調理加工品アイテム数の削減や、機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組みました。

人材面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社内ルールを周知徹底し、従業員の健康管理に努めつつ、職種別の会議体や勉強会を継続し、スキルの向上や組織力の強化と均一化に取り組みました。

環境面では、プラスチック使用量を削減するため、軽量化した発泡素材容器への切換えを進め、また廃棄物を削減するため、関西工場、京滋工場、四国工場に生ごみ処理機を導入するなど、環境負荷の軽減に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高253億5千4百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益9億5百万円(前年同四半期比8.4%増)、経常利益9億2千7百万円(前年同四半期比9.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億9千6百万円(前年同四半期比17.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ3億8千万円増加し、313億2千1百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末に比べ1億7千2百万円減少し、165億7千8百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益6億9千6百万円を計上する一方で、配当金の支払1億4千2百万円等により前連結会計年度末に比べ5億5千3百万円増加し、147億4千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは12億8千6百万円の収入(前年同四半期比9千9百万円収入増)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益9億2千9百万円、減価償却費7億4千1百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億8千3百万円の支出(前年同四半期比2百万円支出減)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出4億6千1百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億8千6百万円の支出(前年同四半期比1億円支出増)となりました。これは、主として借入れによる収入8億円、借入金の返済による支出10億4千2百万円、配当金の支払額1億4千2百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、58億9千8百万円(前年同四半期比8億1百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月10日に発表しました決算短信の通期の連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,482	5,898
売掛金	5,510	5,553
商品及び製品	31	30
原材料及び貯蔵品	249	252
その他	178	322
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	11,450	12,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,297	8,089
機械装置及び運搬具（純額）	3,018	3,068
土地	7,110	7,110
建設仮勘定	105	21
その他（純額）	309	326
有形固定資産合計	18,841	18,616
無形固定資産	103	121
投資その他の資産		
その他	550	529
貸倒引当金	△4	△2
投資その他の資産合計	546	527
固定資産合計	19,491	19,265
資産合計	30,941	31,321
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,959	4,125
1年内返済予定の長期借入金	1,951	1,959
未払金	2,313	2,204
未払法人税等	379	342
賞与引当金	314	294
その他	503	564
流動負債合計	9,422	9,490
固定負債		
長期借入金	7,203	6,953
退職給付に係る負債	34	45
その他	90	89
固定負債合計	7,328	7,088
負債合計	16,751	16,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	3,028	3,030
利益剰余金	7,034	7,588
自己株式	△689	△674
株主資本合計	14,067	14,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	43	39
その他の包括利益累計額合計	43	39
新株予約権	74	61
非支配株主持分	4	4
純資産合計	14,190	14,743
負債純資産合計	30,941	31,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	24,395	25,354
売上原価	21,038	21,883
売上総利益	3,357	3,471
販売費及び一般管理費	2,521	2,565
営業利益	835	905
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	32
その他	13	12
営業外収益合計	39	45
営業外費用		
支払利息	22	21
その他	1	2
営業外費用合計	24	23
経常利益	850	927
特別利益		
新株予約権戻入益	0	9
特別利益合計	0	9
特別損失		
固定資産除却損	3	7
特別損失合計	3	7
税金等調整前四半期純利益	848	929
法人税、住民税及び事業税	253	210
法人税等調整額	0	21
法人税等合計	253	232
四半期純利益	594	697
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	593	696

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	594	697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
退職給付に係る調整額	△2	△4
その他の包括利益合計	△2	△4
四半期包括利益	592	692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591	692
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	848	929
減価償却費	748	741
株式報酬費用	—	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12	△19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	4
受取利息及び受取配当金	△25	△32
支払利息	22	21
固定資産除却損	3	7
新株予約権戻入益	△0	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	△132	△42
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7	△2
仕入債務の増減額 (△は減少)	229	165
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△301	△58
その他の資産の増減額 (△は増加)	△68	△150
その他の負債の増減額 (△は減少)	14	△46
小計	1,333	1,518
利息及び配当金の受取額	25	32
利息の支払額	△22	△21
法人税等の支払額	△161	△301
法人税等の還付額	12	58
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,186	1,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△439	△461
無形固定資産の取得による支出	△38	△20
その他の支出	△10	△2
その他の収入	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△485	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000	800
長期借入金の返済による支出	△1,123	△1,042
自己株式の取得による支出	△54	△0
配当金の支払額	△106	△142
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286	△386
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	414	416
現金及び現金同等物の期首残高	4,681	5,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,096	5,898

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。